

松江市の脱炭素先行地域の取組について

松江市環境エネルギー部環境エネルギー課

1. はじめに

松江市は、2020年12月に「ゼロカーボンシティ」を表明し、2050年までに温室効果ガスの排出量を実質ゼロとすることを目標として定めました。

2021年3月に策定した「松江市環境基本計画」では、脱炭素社会（カーボンニュートラル）の実現を重点目標に掲げ、再生可能エネルギーの導入や省エネルギーを推進することとしています。更に、2023年3月には下位計画として「松江市再生可能エネルギービジョン」を策定し、再生可能エネルギーの導入・普及に向けて、市民・事業者・行政の進むべき方向性を示しました。

そのような状況の中、2023年4月28日に環境省の「脱炭素先行地域」、5月22日には内閣府の「SDGs未来都市」と「自治体SDGsモデル事業」に選定され、脱炭素に向けた先進的な取組を進めています。

2. 「国際文化観光都市・松江」の脱炭素化による魅力的なまちづくり

本市の脱炭素先行地域の取組は、「観光」をテーマとして掲げました。

奈良市、京都市とともに「国際文化観光都市」である本市において、観光資源や観光産業は大切な財産です。特に「国宝松江城」は本市の歴史・文化を今に伝えるとともに、松江観光のシンボリックな存在です。また、著名な温泉地である「松江しんじ湖温泉」や「玉造温泉」、海沿いの景勝地である「美保関町」は国内外から注目される観光エリアとなっています。

本市の観光資源を広くアピールし、インバウンドを中心とした観光需要の拡大を図るため、核となる

「松江城周辺」「松江しんじ湖温泉」「玉造温泉」「美保関」のエリアを脱炭素先行地域に指定しました。自治体、民間企業、観光協会、温泉組合、市民が協力してカーボンニュートラルを切り口とした新たな取組を実施することで、「世界中から松江に人が集まる」持続可能な観光を実現させ、観光地松江のブランド価値の更なる向上と地域経済や産業の活性化につなげていくことをめざしています。

3. 具体的な取組

本市の脱炭素先行地域の取組は、12の共同提案者の皆さまと共に進めています。

そこで、事業全体の情報共有や意見交換、進捗の確認、課題の整理などを行うために全ての共同提案者の皆さまを含む形で「松江市脱炭素先行地域推進協議会」を立ち上げました。そして実務的には、再生可能エネルギー電力の供給、温泉・旅館施設の脱炭素化、カーボンニュートラル観光などの個別の取組ごとにタスクフォースを立ち上げ、関係する共同提案者の皆さまと事業を進めています。

(1) 電力の脱炭素化に関する取組

本市は市内の広いエリアを対象に厳しい景観条例を設定しており、特に今回エリア指定している観光地では太陽光パネル等の再生可能エネルギー設備の設置が難しくなっています。

そこで、先行地域外にある市の遊休地に電力会社が設置した太陽光発電施設で発電した電気を先行地域内の公共施設及び民間施設へ供給するオフサイトPPA、自家消費を前提として設置したカーポート型の太陽光発電設備を活用するオンサイトPPA、市内の卒FIT発電施設や本市の廃棄物バイオマス発電施設などが創出する「電気+環境価値」を電力

松江市の脱炭素先行地域の取組について

会社が購入して先行地域内の事業者等に電力を供給することなどで地域内の脱炭素化を推進します。

また、再生可能エネルギーの導入を進めるとともに、資源循環という社会問題の解決に取り組むため、排出された太陽光パネルのうち再利用可能なパネルをリユースパネル太陽光発電所で発電設備として再生します。

(2) 電力以外の脱炭素の取組

電力以外の分野では、堀川遊覧船の電動化を進めています。2023年8月から自動車メーカーのホンダと連携して電動推進機プロトタイプの実証事業を行い、その後2024年4月から一般運航を開始しました **写真**。



写真 電動推進機

また、グリーンスローモビリティで観光施設間を結びその電力を再生可能エネルギーで賄う仕組みを構築することや再生可能エネルギーによるEVシェアリングサービスステーションを設置することで、観光にかかるエネルギーの脱炭素化をはかり観光客に対しゼロカーボン観光体験を提供します。

そして、温泉施設の脱炭素化、省エネの推進として、高効率ヒートポンプ給湯システムの導入や照明設備のLED化、温泉排水熱活用などによってCO₂排出量の削減を図ります。

(3) ブルーカーボンの取組

ブルーイノベーションプロジェクトとして、水域資源の保全・活用の両立による経済循環をめざしており、その一環としてブルーカーボンの取組を進めています。

中国電力が発電所の防波護岸の機能を高めるために設置した人工リーフで生育した海藻類による

CO₂の吸収について、Jブルークレジットの認証を取得されましたので、これを活用して、旅行の移動時に排出されるCO₂をオフセットする個人型旅行商品を日本で初めて造成しました。

また、昨年12月には本市総合体育館を本拠地とする島根サノオマジックの試合で、照明などの電力消費により排出されるCO₂をオフセットするサステナブルゲームを開催しました。

4. おわりに

本市は令和5年度から令和9年度まで5年間の計画で脱炭素先行地域の取組を進めておりますが、初年度である令和5年度は、事業計画策定時に想定していた状況と実際の現場の状況が異なっていることなどもあり手探りで様々な課題を解決しているような状況でした。

事業はこれから本格化していく段階ですので、共同提案者の皆さま、関係する事業者の皆さま、市民の皆さまと連携して「国際文化観光都市・松江」の脱炭素化による魅力的なまちづくりに取り組んでまいります。



「国際文化観光都市・松江」の観光パンフレット